新たなスペインの旅はパラドールが主役

TURESPAÑA

PARADORES
Hoteles & Restaurantes 1928

アフターコロナのスペイン旅行を考えるとき、
注目したいのが歴史的建築物を宿泊施設にしたパラドールだ。
旅に対する人々の価値観が変わるなか、地域に根差し、
ストーリー性のあるコンテンツが心の琴線に触れる高付加価値な素材となる。

コロナ禍で人々の意識が変わり、テーマ型の旅のニーズが高まっている。地域ならではの体験やサステイナビリティーに関心が向き、バケットリストにあるような特別な場所や体験が不可欠だ。そこで注目したいのが、独自の歴史を持ち地域色豊かなスペイン国営ホテルチェーンのパラドール。スペイン王国がたどった歴史ロマンを味わうことで、特別なストーリーを紡ぐことができる。

パラドールとは、スペイン政府が歴史的建造物修復の財源確保のため、建造物自体をホテルとして蘇らせた国家プロジェクトだ。1928年に国王アルフォンソ13世が自身の狩猟用山荘を改装して開業したパラドールが第1号で、これが人気を博し、政府は修道院や城、自然が美しい場所にパラドールを建造。多くの人が訪れ、周辺には店やレストランができ、地域経済活性化の起爆剤として観光立国を歩むきっかけになった。21年11月現在、97軒の施設がある。

パラドールは地域の郷土料理を売りにしているのも特徴だ。レストランだけの利用も可能でチェーン全体の収入の45%が飲食からもたらされている。また、スペイン観光品質管理局のセーフツーリズム認証を取得し、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、高いレベルの衛生管理はお墨付き。高齢者や障がい者がアクセスしやすいようバリアフリー化も進めており、誰もが安心して滞在できる環境整備に力を入れている。

レオンのパラドールは荘厳な外観（上）とは異なり、モダンな内装デザインが（下）強烈な個性を放つ。改装を終え、滞在の快適性も高まった

郊外の歴史的建造物に注目

パラドールは歴史的建造物、都市型、自然の3つのタイプに分かれる。アフターコロナの旅に最適な場所として、人が密集しない郊外に位置する歴史的建造物のパラドールに目を向けてみたい。

キリスト教の3大巡礼地、サンティアゴ巡礼路の終着地にある**サンティアゴ・デ・コンポステーラ**は、15世紀から巡礼者を受け入れてきた王立救護院兼宿泊施設を改装した5つ星のパラドールだ。回廊で結ぶ4つのパティオを囲むように宿泊棟が建ち、そこかしこに時代を物語る貴重な美術品が並ぶ。石造りのレストランではガリシア地方の料理とワインを堪能できる。

サンティアゴ巡礼路の要所である**レオン**にも、スペインのルネサンス建築の傑作といわれる旧サン・マルコス修道院を改装したパラドールがある。フェルナンド2世の命で1515年から2世紀かけて完成した建物で、幅100mの壁面に緻密なプラテレスコ様式の装飾が施された外観とモダンな内装との対比を楽しみたい。煮込み料理のコシードなど、この地方独自の料理も味わえる。

さらにセビージャとヒホンを結ぶ巡礼路、「銀の道」にも魅力的なパラドールがある。中世の城壁に囲まれた旧市街にある**カセレス**は14世紀の旧トレオルガス邸を改装したパラドールで、バロック様式の外壁を残しながら館内はモダンな設備で快適さも備える。イベリコ豚の産地であるエクストレマドゥーラ州ならではの料理が食べられるほか、300種以上のワインをそろえる14世紀建造のワイン蔵がある。

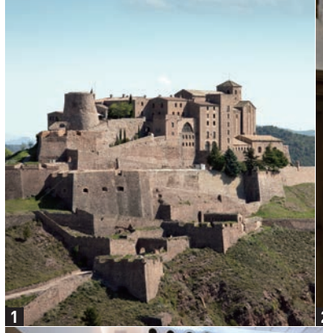
パラドール滞在の醍醐味の1つは、本物の城や宮殿に泊まれること。南部のアンダルシア地方にある**グラナダ**のパラドールは世界遺産のアルハンブラ宮殿の一画に泊まれることで人気を集めている。イスラム王朝時代の15世紀に建てられた修道院を改装した建物で、離宮ヘネラリフェやアルバイシンの丘を望む最高の立地。窓やタイルなど各所にイスラム芸術の粋を集めた装飾が見られ、アルハンブラの世界に浸ることができる。

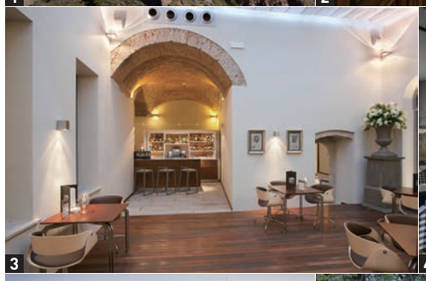
古城ホテルの代表はバスク地方、美食の町サン・セバスティアンの隣町**オンダリビア**。10世紀の要塞を16世紀に神聖ローマ帝国の皇帝カルロス5世が城塞兼宮殿として改築した。旧市街地の一番高い丘の上にあり、ここから望むフランスと国境の海の景色が素晴らしい。バルセロナから約100kmにある城下町**カルドナ**も丘の上にある古城パラドール。ローマ人の砦の跡に造られた石造りの古城は中世城塞都市の雰囲気たっぷり。テラスからの眺望が楽しめるほか、イスラムの若者に恋をしたキリスト教徒の姫が幽閉された塔など見どころも。カタルーニャ料理も魅力の1つだ。

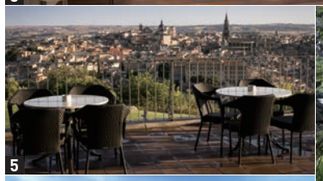
小高い丘に中世の街並みが残る**レルマ**のパラドールは国王の腹心レルマ侯爵の私邸兼王室の離宮。1601年から17年間という当時としては異例の早さで造った館で、レストラン、侯爵の寝室と妃の間、バンケットホールなどは侯爵の時代の姿を残す。マドリードから車で約1時間の**チンチョン**は17世紀にアウグスティヌス派修道院をパラドールにした。美しい中庭を囲むように部屋が配置され、外側の小さい窓に対して内側が明るくゆったり造られた回廊など、修道院時代の雰囲気を今に残す。

歴史的建造物のパラドールはその地の一番良い場所にあり、景観が抜群だ。古都**トレド**の旧市街の高台にあるパラドールは、タホ川に囲まれた街全景をテラスから一望でき、夕刻から夜へ徐々に色を変える絶景が人々を魅了する。切り立つ崖の上にある**ロンダ**のパラドールもヌエボ橋の崖の縁に建ち、渓谷の断崖絶壁の眺望が最大の特徴。1761年に建造された旧市庁舎の内装はモダンでカラフルで居心地が良い。

レコンキスタ（キリストへの国土回復運動）や大航海時代と波乱の歴史を辿ってきたスペイン。風土によって異なる食と併せて、パラドールは歴史や文化の一面を体感できる貴重な場所である。







1カルドナのパラドールはたどり着く前から旅の高揚感をかき立てる　2聖地サンティアゴ・デ・コンポステーラでは客室も歴史ある趣　3貴族の旧邸宅らしくカセレスのパラドールには心地よいサロンがいくつも　4オンダリビアでは食も存分に楽しみたい　5トレドの街を一望するパラドールからの景観は最高のぜいたく　6断崖絶壁に立つロンダのパラドールは天空にいる気分　7アルハンブラ宮殿の一画にパラドールがあるグラナダは庭園からの眺望も見事

詳細・問い合わせ：スペイン政府観光局
（E-mail：info.tokio@tourspain.es）
パラドール公式サイト：www.parador.es

［PR］

［PR］